



総合政策課 広報地域づくり係
地域おこし協力隊 奥澤貫司

令和7年度 活動報告書

2026/03/18



CONTENTS

- | | | | |
|----|----------------|----|-------------------|
| 01 | 移住相談会 | 05 | グリーンツーリズムインストラクター |
| 02 | 最上地域のライフスタイル紹介 | 06 | コミュニティスペースDIY |
| 03 | 丸森町視察 | 07 | 事業継承 |
| 04 | 陣ヶ峰登山 | 08 | まとめ |



自己紹介 奥澤貫司

栃木県佐野市出身 34歳

前職：不動産・金融

ふるさと納税関連の仕事で新庄市へ訪れたことをきっかけに協力隊へ。

ミッション

新庄市の魅力を発信し移住者の獲得を目指す。

退任後は新庄市へ定住予定。

大阪出張時の私

移住相談会



東京・大阪移住相談会

毎年3～4回主に東京で開催される移住相談会にて移住検討者の相談を受ける。相談会を通し直接移住に至るまでのアプローチは難しいが、移住体験や新庄市独自のイベントへの案内など少しずつではあるが着実にブース出展の効果は出てきている。

課題

最上地域の8市町村で開催する相談会などは来訪者が少ない上、メインターゲットはUターン希望者になる。代わって県や東北全域といった大きな相談会になればなるほど人気の自治体ブースに人が偏りやすい。また、相談会で最も多い相談が”仕事”に関することだが、紹介できる仕事が少ない

最上地域の
ライフスタイル
紹介

相談会で多い”仕事”の紹介

移住相談会で最も多い”仕事”の紹介。
直接仕事の斡旋等は窓口からは難しい。
→新庄・最上地域ではどんな仕事があり、実際にそこで暮らす人々のライフスタイルを知ってもらえば移住検討者に具体的に移住後の生活をイメージしてもらえるのではないかな？

取材と記事作成

新庄市に限定せず、最上地域全域へ取材に行き雪国ならではの、東北ならではの、そして最上地域ならではの仕事に携わる方々へインタビュー協力していただき”最上地域のライフスタイル紹介”としてまとめた。

鮭川村役場職員×
農業ドローン事業×
雪板事業



高橋佳希
1986年生まれ 39歳

高校卒業後自衛隊に入隊、自衛隊退隊後はターミネーター、倉庫勤務、米屋、など様々な業種を経験。現在は実家の農業を手伝いながら農業ドローン事業や、趣味が高じて始めた雪板の制作事業などを手がけながら役場の職員としても働いている。

一時は東京で生活していた時期もありながら、現在は地元に戻り田舎暮らしを満喫する高橋さんの田舎ならではのライフワークバランスを紹介する。

現在様々な仕事をこなしてより大変忙しく感じられるが、実はしっかりとライフワークバランスの取れた生活を送っているとのこと。その秘密は田舎ならではの働き方によるものだという。

例えば農業ドローン事業については、米どころである山形県は農家人口が多く農業が盛んだが、高齢化や人手不足が課題となっておりそれらの解決策として農業ドローンが急速に普及してきている。米の生産・生産は春から秋にかけて行われ、特にドローンによる農薬散布の仕事は東北地方では6月～8月にかけて集中している為、短期間に集中して稼ぐことが可能だという。自らも生産者としての知見がある為、より効率的に仕事がこなせるのも大きい。

一方で雪板制作も行ってあり、冬になると雪板イベントの運営をこなす。山形県最上地方は全国的に見ても屈指の豪雪地帯で知られており、小さいころから冬の雪遊びは好きだった。大人になってからもスキー、スノーボード、雪板と冬のアウトドアスポーツは何でもやっつた。長くやっているからこそ色々なこだわりが強くなっていき、元々モノづくりが好きで性格もあってか気が付けば自分が使う道具は自ら制作するようになった。本気で好きな事だからこそ思い込みを持って制作した板たちは、同じく雪板を愛する者たちからの支持を受け、板制作の依頼が来るように。現在ではそれが仕事になるまでになった、とのことだ。

季節の移ろいとともに様々な仕事をこなす、”田舎らしく好きなことで生きていく”を実践する高橋さん。またそれを実践可能な田舎暮らしの良さなども語ってくれました。

作成した紹介記事

丸森町視察



まるもりホステル

空き家活用の事例視察

丸森町では空き家バンクの整備が進んでおり、100件以上の物件が登録されている。その中でも協力隊によるDIYで古民家を改装したまるもりホステルが人気を博し観光客の宿泊施設兼、地域住民の交流の場として賑わっている。

課題

田舎の空き家でよくあるのが、所有者または権利者を探し出すことが困難な場合がある。また、雪国では管理されていない家屋だと雪により損傷が大きい場合が多い

グリーンツーツーリズム インスタトラクター



埼玉県熊谷市での講習

グリーンツーリズムインストラクター資格の取得

グリーンツーリズムとは・・・農山漁村地域における自然や文化、人々との交流を楽しむ余暇活動

グリーンツーリズムインストラクターとは・・・グリーンツーリズム体験を通して農山漁村地域を案内する地域の案内人

今後の活用

地域資源を最大限活用し、地域の活性化に繋げるための活動に貢献する

→自然を利用した体験ツアー等の実施

陣ヶ峰登山



陣ヶ峰山頂展望台

陣ヶ峰展望台の整備の課題

新庄市のホームページでも“観光スポット”として紹介されている展望台。HPでは“陣ヶ峰山頂からは新庄盆地が一望でき、鳥海山の勇壮な姿が浮かぶ。”と書かれているが現在は木々が伸びて景観を邪魔している。陣ヶ峰を愛する市民が自発的に10年間手入れしてきた。

課題

新庄市にある数少ない観光スポットのひとつ。山頂にある登山者が自由に読み書きできる旅日記を見ると、全国様々な場所から登山者が来訪していることがわかるが、市として展望台のメンテナンス、維持するのは難しいと。

展望台に設置されている旅日記



コミュニティ スペースDIY



改装後の事務所

コミュニティスペースDIY

協力隊の事務所としても利用（間借り）していた部屋を誰でも気軽に利用できるコミュニティスペースに改装。

地域の方を呼び交流会をしたり、時には協力隊で集まり飲み会などしたりと憩いの場として利用させていただきました。

視察の効果と地域の人との協力

これまで視察などでたくさんの方のDIY物件を見てきたこと、そして地域の方の協力により素人ながらなんとか改装することが出来ました。

ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

改装前と交流会の様子



事業継承



山菜採りの様子

山菜事業継承

協力隊2年目より、市内の山菜事業者の手伝いを始めた。そこから山について様々教わる中で、山の仕事に魅力を感じ始める。3年目には本格的に事業継承することを決め、退任後は新庄市へ定住し山菜事業を生業とする事に。

最上地域の山の幸を日本中に届ける

天然の山菜は採取者の高齢化や流通量の減少により、安定的に入手することが難しくなっている。自然環境に配慮した方法で天然山菜を収穫・加工・販売することで、安心・安全で付加価値の高い食材を提供するとともに、地域資源の有効活用と山間地域の活性化に貢献したい

まとめ

3年間様々な経験をさせて頂きありがとうございました。

私自身、移住業務という仕事の難しさを痛感した3年間でした。

目に見える成果が出るには時間が必要だと思います。

これまでの積み重ねを無駄にすることのないよう、辛抱強く引き続き移住・定住業務の継続を願います。

協力隊は退任になりますが、これからは一市民として新庄市により一層活気が出るよう微力ながら応援したいと思います。

3年間協力・支援してくださった職員、市民の方はじめ支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

私は、これからも皆さまとの「つながり」を大切にしながら、一歩ずつ活動を積み重ねてまいります。